

## ITSスマートタウンの実現に向けて ITSスマートタウン研究会の中間報告

通商産業省及び郵政省では、交通事故・渋滞等の道路交通問題、公共交通機関の利便性向上など地域の抱える諸課題に対応したITS（高度道路交通システム）の地域展開（「ITSスマートタウン」）に向けた推進方策等について検討するため、「ITSスマートタウン研究会」（座長：川嶋 弘尚 慶応義塾大学理工学部教授。構成員については、別紙1のとおり）を共同で開催しております。平成12年（2000年）4月からこれまで3回開催し、同研究会におきまして、「ITSスマートタウンの実現に向けて」と題して、これまでの検討の結果を中間報告として取りまとめました。その骨子は、以下のとおりです。（概要は別紙2のとおり）

今後、中間報告で取りまとめられた内容を踏まえ、ITSスマートタウンの推進方策等について、更にご検討いただき、本年10月下旬を目途に最終報告を取りまとめる予定です。

（骨子）

- 1 ITSスマートタウンは、地域が抱える諸問題や地域社会の発展等に寄与することを目的に、地域の特性等を踏まえたITSシステムを導入するものですが、その成果を活用した全国展開や利用技術の汎用化・標準化等により、21世紀の我が国の社会構築にも大きく寄与していくものと期待されています。
- 2 具体的な導入に際しては、地域課題の類型に応じITSシステムを導入していくことが適切であり、以下の4つをITSスマートタウンのイメージとして提案しています。
  - ・人、車、自然が共生できる街
  - ・交通弱者も元気に活躍できる街
  - ・誰もが自由にモビリティを享受できる街
  - ・新たな産業と情報化を創出する街
- 3 以上の認識にたつて、ITSスマートタウンの早期実現に向け、以下に掲げる対応・施策を早急かつ強力で講じることを提言しています。
  - 地域での展開・促進への対応
    - ・地域ITS推進協議会の設立
    - ・地域レベルでの産官学の一層の連携
    - ・地域ITS推進協議会の全国レベルでの連携
    - ・地域データベースの整備
  - 国が早急に取り組むべき施策
    - ・地域ITSシステムの整備のための公的支援
    - ・先導的なITSシステム技術の研究開発及び実フィールドの実証の実施
    - ・ITS関連の標準化及び汎用技術の開発
    - ・地域ITSシステムの展開を図るための評価手法の確立
    - ・制度的対応を含めた総合的環境整備のための施策の検討

連絡先：通商産業省機械情報産業局自動車課 田中、杉山  
（電話 03-3501-1690）  
郵政省電気通信局電波部移動通信課 箴島、吉森  
（電話 03-3504-4875）

関係報道資料：「ITSの地域展開へ向けて - ITSスマートタウン研究会の開催」  
（2000年4月26日発表）

ITSスマートタウン研究会 構成員
-------------------

(敬称略、50音順)

座長	あおやま とものり	
代理	青山 友紀	東京大学工学系研究科教授
	いしだ はるお	
	石田 東生	筑波大学社会工学系教授
	かがみ まさと	
	各務 正人	運輸省自動車交通局企画課長
	かわしま ひるなお	
座長	川嶋 弘尚	慶應義塾大学理工学部教授
	かわもり ゆういち	
	川守 祐市	エヌ・ティ・ティコミュニケーションズ株式会社 取締役
	きむら まさし	
	木村 昌司	建設省道路局高度道路交通システム推進室長
	せき よしゆき	
	関 祥行	株式会社フジテレビジョン 技術本部技師長
	たなか としひさ	
	田中 敏久	道路・交通・車両インテリジェント化推進協議会 専務理事
	なかむら しゅうお	
	仲村 巖	日産自動車株式会社 常務
	はやし みかこ	
	林 美香子	フリーキャスター
	ひらた やすお	
	平田 康夫	ケイディディ株式会社 取締役
	ふじえ かずまさ	
	藤江 一正	日本電気株式会社 NECネットワークス執行役員常務
	ふるかわ ひであき	
	古川 英昭	株式会社電通 取締役
	ほり たつゆき	
	堀 龍之	松下通信工業株式会社 常務取締役
	まつもと はるお	
	松本 治男	警察庁交通局交通規制課長
	みやげ のぶひろ	
	三宅 信弘	株式会社デンソー 取締役
	みよし すずむ	
	三吉 暉	トヨタ自動車株式会社 専務取締役
	ゆもと のぶお	
	油本 暢勇	住友電気工業株式会社 常任顧問
	よしの たけひこ	
	吉野 武彦	日本放送協会 技術局長

## (事務担当)

おおみち まさお	
大道 正夫	通商産業省機械情報産業局自動車課長
いなだ しゅういち	
稲田 修一	郵政省電気通信局電波部移動通信課長

# ITSスマートタウンの実現に向けて

( 中間報告概要 )

平成12年6月  
ITSスマートタウン研究会

## 地域が抱える諸課題

- 交通事故・渋滞等の道路交通問題
- 公共交通機関の利便性向上（インターモーダル化）
- アメニティ・快適性の追求
- 環境問題の深刻化
- 少子高齢化の進展と交通弱者の支援
- 地域産業の活性化
- 地域間で享受可能な情報の不均衡
- 災害等にも対応した街づくり

# IT革命がITSを加速化する

ITSは、最先端の情報通信技術（IT）を活用し、  
人と道路と車を一体化

IT革命の到来

インターネット  
(IP)

電子商取引  
(EC)

位置情報  
システム

セキュリティ  
の向上

様々なニーズに対応可能な  
ITSアプリケーション・システムを創出

# 地域におけるITSの取り組み

## ITSモデル地区におけるフィージビリティ・スタディ

(ITSモデル地区) 豊田市、高知県、警視庁(東京都)、岐阜県、岡山県  
地域社会におけるITSアプリケーション展開の検討  
ITSが地域の諸課題解決に寄与する可能性のケーススタディ

## 2000年を契機に本格的なITS情報通信インフラが実現

携帯電話(5800万)、インターネット(2700万)の急激な普及  
本格的なモバイルコミュニケーション時代の到来  
IMT-2000、放送のデジタル化、DSRCシステムの実現...  
ITSに活用できる情報通信インフラの大容量化・高機能化が実現

## ケース・スタディから実フィールドでの展開・整備へ

地域課題の解決に向け、ITSシステムを実フィールドで展開・整備  
ITSシステムの効果の検証・ITSの全国展開への寄与



ITSスマートタウン

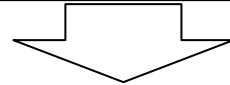
# ITSスマートタウンの意義

## ITSスマートタウン

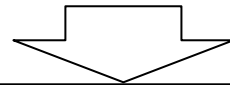
### 地域の特性等を踏まえたITSシステムを導入

当該地域の社会的影響の検証、地域ニーズの反映

ITSシステム導入による地域の諸課題解決、地域社会の発展等への寄与



- ITSスマートタウンの成果・ノウハウの情報発信 交流等を通じた全国展開の実現
- 総合的な技術集積システムであるITSシステムの汎用的技術の標準化 国際展開を通じた我が国の技術競争力の推進



## ITSの早期実現のみならず、21世紀の我が国の社会構築へ大きく寄与

- 豊かで安心して生活できる地域社会の実現
- 地域の循環型経済社会の実現
- 交通弱者の社会進出の促進
- 産業競争力ある地域社会の実現
- 地域間の情報格差の解消

# ITSスマートタウンのイメージ

## ITSスマートタウン導入の視点

- 地域の特性（地域の社会構造や交通環境、社会環境等に対応したITS）
- 地域ニーズとマーケット（災害対策等の公共性も含めた地域ニーズを実現するための実用的なITS）
- ユーザーへの配慮（車だけでなく人・モノも含めたITS）
- ITSの均衡ある発展（一極集中でなく地域を考えたITS）

## 地域課題の類型に応じた最適なITSシステムの導入

- **人・車・自然が共生できる街**  
効率的な交通利用を推進し、安全で住みやすく地球環境改善に貢献できる、自然にやさしい街
- **交通弱者も元気に活躍できる街**  
高齢者・障害者の歩行支援をサポートし、また、事故や災害等の非常時の際も迅速な対応が可能な安心して住みやすい心かよう街
- **誰もが自由にモビリティを享受できる街**  
位置情報や経路情報等の情報を様々な形で提供することにより、車だけでなく人、もののスムーズな移動の支援、また、訪れる人の自由な行動もサポートする快適な便利な街
- **新たな産業と情報化を創出する街**  
観光資源、地域情報等の各種情報を様々な形で提供することにより、ひと、もの、車の交流を促進させ、地域の文化・産業・情報化を促す、元気がでる街

## ITSシステム導入に当たっての課題

- ITSに参加する者の負担と受益の関係の整理
- ITSがもたらす様々な効果・影響を的確かつ分かり易く評価する仕組みの構築
- ITSに参加する者の責任関係の明確化
- 先行地域での成果等の他地域への適用
- 市場化を考慮したITS



# ITSスマートタウン実現に向けた処方箋

ITSスマートタウンの早期実現に向けて、地域での展開を加速化させるとともに、国として早急かつ強力に施策を講じることが必要。

## 地域での展開の加速化

- 地域ITS推進協議会等の設立、地域でのアクションプランの策定
- 地域における産官学との一層の連携
- 地域ITS推進協議会の全国レベルでの連携
- ITS関連情報の汎用的利用等を図るための地域データベースの整備

## 国が早急に取り組むべき施策

- 地域ITSシステム整備のための公的支援
- 先導的なITSシステム技術の研究開発及び実フィールドでの実証の実施
- ITS関連の標準化及び汎用技術の開発
- 地域ITSシステムの展開を図るための評価手法の確立
- 地域ITSシステムの導入促進を図るための制度的対応を含めた総合的環境整備施策の検討

# ITSスマートタウンの実現に向けて

ITSスマートタウン研究会 中間報告骨子

## 地域が抱える課題

- ・交通事故・渋滞等の道路交通問題
- ・アメニティ・快適性の追求
- ・交通弱者への配慮（バリアフリー化）
- ・地域間の情報格差
- ・公共交通機関の利便性向上（インターモーダル化）
- ・環境問題の深刻化
- ・地域産業の活性化
- ・災害等にも対応した街づくり 等

## 導入の視点

- ・地域の特性
- ・地域ニーズとマーケット
- ・ユーザーへの配慮
- ・ITSの均衡ある発展

II革命の到来

ITS

## 導入の課題

- ・負担と受益の明確化
- ・効果・影響の評価
- ・責任の明確化
- ・他の地域への展開
- ・市場性の考慮

- ・地域ITSシステムの整備のための公的支援
- ・先導的なITSシステム技術の研究開発の実施
- ・ITS関連の標準化と汎用技術の開発
- ・地域ITSシステムの展開を図るための評価手法の確立
- ・制度的対応を含めた総合的な環境整備の検討

## ITSスマートタウンの実現

- ITSを活用した街づくり -

- ・人、車、自然が共生できる街
- ・交通弱者も元気に活躍できる街
- ・誰もが自由にモビリティを享受できる街
- ・新たな産業と情報化を創出する街

地域ITS推進協議会等の設立

- ・産官学との一層の連携
- ・地域ITS推進協議会の全国レベルでの連携
- ・地域データベースの整備

豊かで安心して生活できる地域社会の実現

地域の循環型経済社会の実現

交通弱者の社会進出の促進

産業競争力ある地域社会の実現

地域間の情報格差の解消